

No.221

# 心臓財団 季報

DEC.10, 2015



公益財団法人

日本心臓財団

〒163-0704 東京都新宿区西新宿2-7-1小田急第一生命ビル4階

●Tel 03-5324-0810

●Fax 03-5324-0822

●e-mail : info@jhf.or.jp

●URL : http://www.jhf.or.jp

## 第13回日本心臓財団・アステラス

## 「動脈硬化 Update」研究助成対象研究者決定

日本心臓財団では、アステラス製薬株式会社の協力を得て、動脈硬化研究の一層の進展と少壮研究者の育成に努めるため、動脈硬化領域における研究を行う40歳未満の研究者に対する助成を実施しています。

今回第13回の本事業に37件の応募があり、次の5名が助成対象者に決定しました。9月5日に開催された研究会発表会で5題のうち上位3題の発表があり、それをもとに最優秀研究1題、優秀研究2題が選考され、残り2題が奨励研究に決定いたしました。



### 選考委員

(五十音順・敬称略)

委員長	石橋 俊	自治医科大学内分泌代謝学部門教授
委員	秋下 雅弘	東京大学大学院医学系研究科加齢医学講座教授
	荒井 秀典	国立長寿医療研究センター副院長
	上田真喜子	森ノ宮医療大学大学院教授 / 大阪市立大学名誉教授
	酒井 寿郎	東京大学先端科学技術研究センター教授
	堀内 久徳	東北大学加齢医学研究所基礎加齢研究分野教授
	山下 静也	大阪大学大学院医学系研究科総合地域医療学寄附講座特任教授
	横手幸太郎	千葉大学大学院医学研究院細胞治療内科学教授
	横出 正之	京都大学医学部附属病院臨床研究総合センター早期臨床試験部教授

## 助成研究対象者

(順不同・敬称略・金額単位：万円)

### 最優秀研究

名前(年齢)・所属

助成金額

阿部 陽平 (30歳) 東京大学先端科学技術研究センター 代謝医学分野 特任研究員

200



### 環境因子に応答したヒストン脱メチル化酵素 JMJD1A による熱産生関連遺伝子制御メカニズムの解明

私たちの体には、寒冷という危険な状態に曝された時、すみやかに熱が産生され、低体温から身を守るしくみが備わっている。我々は、JMJD1Aという核内タンパク質が寒冷刺激によってリン酸化されることで、様々なタンパク質との結合、および遺伝子の高次構造変化を介して、熱産生遺伝子の発現を活性化させることを明らかにした。この結果は、熱産生・エネルギー消費が低下して起こる肥満症および合併症である心血管疾患への治療法につながると期待される。